

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校		授業担当	学科名：ペットビジネス学科
教科名：グルーミング実習（①から⑨）		塩田恵理子 実務経験有	■ 1年前期
到達目標	前期終了時の実技試験で、ダックス1頭2時間以内にベーシック作業（爪切り・耳掃除・バリカン・ブラッシング・シャンピング・ペイジング）が仕上げられること		18単位 288時数
	（成績評価の方法・基準）出席率・課題評価		
回	授業内容		
1	グルーミング概論・講義		
2	グルーミング概論・講義		
3	グルーミング概論・講義		
4	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
5	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
6	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
7	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
8	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
9	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
10	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
11	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
12	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
13	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
14	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
15	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
16	前期テスト		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。 その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名：ペットビジネス
教科名：グルーミング実習（◎から◎）	塩田恵理子 実務経験有	■ 1年後期
到達目標	後期終了時の実技試験で、トイプードル1頭2時間以内にベーシック作業、カットが2.5時間以内に仕上げられること (成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価	
18単位 288時数		
回	授業内容	
1	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。	
2	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。	
3	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。	
4	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。	
5	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。	
6	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。	
7	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。	
8	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。	
9	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。	
10	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。	
11	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。	
12	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。	
13	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。	
14	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。	
15	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。	
16	後期テスト	

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 GPA計算式：A=2 B=2 C=1 D=0 E=0	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。 その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名：フラワービジネス
教科名：フラワーデザイン実習 (1)(2)(3)(4)(5)	西河友美 実務経験有	■ 1年前期
到達目標	フラワーデザインの知識や技術、フラワー産業としての花流通を学ぶ	
	(成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・筆記テスト	
回	授業内容	備考
1	木下恵子氏デモンストレーション見学	
2	【A・B・C】造形バリエーション	
3	【A】テーブルセンターピース①(ラウンド)	
4	【C】身に着けるオシャレな花(ツープイント)	
5	【A】年中行事の花(母の日)ラッピング技術	
6	【A】テーブルセンターピース②(水平)	
7	【B】ブライダルブーケ①(ラウンド)	
8	【B】ブライダルブーケ②(カスケード)	
9	【B】ブーケ(花束)①(スパイラル)	
10	【B】ブーケ(花束)②(平行)	
11	【A】ジオメトリック(パーティカル)	
12	フラワーワーク①(フラワーデザイナー)	
13	フラワーワーク②(フラワーデザイナー)	
14	フラワーワーク①(フローリスト)	
15	フラワーワーク②(フローリスト)	
16	前期試験(木下恵子氏審査)	
成績評価の基準		成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満)</p> <p>・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0</p> <p>算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>		<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>
再試験に関して		

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校		授業担当	学科名：フラワービジネス
教科名：フラワーデザイン実習 (1) (2) (3) (4) (5)		西河友美 実務経験有	■ 1年後期
到達目標	年中行事の花を学ぶとともにNFD検定3級取得を目指す		10単位 160時数
	(成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・筆記テスト		
回	授業内容	備考	
1	フラワー装飾技能士3級【ABC】		
2	NFD3級パターン【A】①(共同形態)		
3	NFD3級パターン【A】②(並行-装飾的)		
4	NFD3級パターン【A】③(トライアングラー)		
5	NFD3級パターン【B】①(丸い花束)		
6	NFD3級パターン【B】②(モダン-装飾的ブーケ)		
7	【A】年中行事の花①(クリスマス リングアレンジ)		
8	【A】年中行事の花①(クリスマス リース)		
9	【A】年中行事の花①(迎春門松アレンジ)		
10	【A】年中行事の花①(迎春注連縄飾り)		
11	復興支援・花育事業参加		
12	NFD3級本番トライアル①		
13	NFD3級本番トライアル①		
14	NFD3級本番トライアル①		
15	NFD3級本番トライアル④		
16	後期試験(木下恵子氏審査)		
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>		<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p>
			<p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名：スポーツビジネス学科
教科名：スポーツビジネスコミュニケーション	池田 扶実子 実務経験有	■ 1年前期
到達目標	消費者ニーズを満たすスポーツプロダクトを効果的に提供するための 基本的な理論や考え方を習得 (成績評価の方法・基準) 出席率・筆記テスト	
		2単位 32時数
回	授業内容	備考
1	サービスの定義について	
2	サービスクオリティーについて	
3	サービスの側面と測定について	
4	スポーツマーケティングについて	
5	サービスにおける人の役割	
6	サービスとマニュアル	
7	サービスエンセウンターの役割	
8	フィットネス産業の発展	
9	サービスの実態	
10	サービス内容と運用	
11	会員継続マネジメント(購入理由)	
12	会員継続マネジメント(退会理由)	
13	経済社会の成熟とサービス化	
14	消費者意識の変化とサービスの特質	
15	サービス・エンカウンターについて	
16	サービス・プロフィット・チェーンについて	

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>	<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校		授業担当	学科名：スポーツビジネス学科
教科名：スポーツビジネスコミュニケーション		池田 扶実子 実務経験有	■ 1年後期
到達目標	消費者ニーズを満たすスポーツプロダクトを効果的に提供するための 基本的な理論や考え方を習得 (成績評価の方法・基準) 出席率・筆記テスト		2単位 32時数
回	授業内容	備考	
1	サービス・スタッフのマネジメント		
2	サービスの捉え方とサービスの品質		
3	プロモーション戦略		
4	ソーシャルマーケティング		
5	コミュニケーションスキル①		
6	コミュニケーションスキル②		
7	コミュニケーションスキル③		
8	プレゼンテーションスキル①		
9	プレゼンテーションスキル②		
10	プレゼンテーションスキル③		
11	企画書作成①		
12	企画書作成②		
13	企画書作成③		
14	サービス・スタッフのマネジメント		
15	フィットネスクラブ施設見学 スタッフの仕事や対応を見学	レポート提出	
16	企画書発表		
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>		<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p>
			<p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校		授業担当	学科名：スポーツビジネス学科
教科名：フィットネスプログラム (講義)		富士 伸之 実務経験有	■ 2年前期
到達 目標	GFI資格取得にむけた強度を上げるプログラム2.5分の作成。		2単位 32時数
	(成績評価の方法・基準) 出席率・筆記テスト		
回	授業内容	備考	
1	ADI課題 プログラム作成		
2	ADI課題 プログラム実演練習と指導練習		
3	ADI課題 試験に向けたリハーサル練習		
4	REI課題 プログラム作成		
5	REI課題 プログラム実演練習と指導練習		
6	REI課題 試験に向けたリハーサル練習		
7	SEI課題 プログラム作成		
8	SEI課題 プログラム実演練習と指導練習		
9	SEI課題 試験に向けたリハーサル練習		
10	WEI課題 プログラム作成		
11	WEI課題 プログラム実演練習と指導練習		
12	WEI課題 試験に向けたリハーサル練習		
13	ADI技試験 筆記試験		
14	REI技試験 筆記試験		
15	SEI技試験 筆記試験		
16	WEI技試験 筆記試験		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満)</p> <p>・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0</p> <p>算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>	<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校		授業担当	学科名：スポーツビジネス学科
教科名：フィットネスプログラム (講義)		富士 伸之 実務経験有	■ 2年後期
到達 目標	健康運動実践指導者試験の課題曲に合わせた実演練習 及び、指導循環を実践する力を身につける。		2単位 32時数
	(成績評価の方法・基準) 出席率・実技テスト		
回	授業内容	備考	
1	課題運動実演A		
2	課題運動実演A		
3	課題運動実演A		
4	課題運動実演A		
5	課題運動実演R		
6	課題運動実演R		
7	課題運動実演R		
8	課題運動実演R		
9	課題運動実演A・R		
10	課題運動実演A・R		
11	課題運動実演A・R		
12	課題運動実演A・R		
13	健康運動実践指導者筆記試験対策①		
14	健康運動実践指導者筆記試験対策②		
15	健康運動実践指導者筆記試験対策③		
16	健康運動実践指導者筆記試験対策④		
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満)</p> <p>・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 E=0</p> <p>算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>		<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校		授業担当	学科名：スポーツビジネス学科
教科名：スポーツ経営管理 (講義)		池田 扶実子 実務経験有	■ 2年前期
到達 目標	スポーツ経営におけるマーケティング戦力を立てることができ、		2単位 32時数
	課題を抽出する事のできるための理論や知識の習得		
	(成績評価の方法・基準) 出席率・筆記テスト		
回	授業内容	備考	
1	マーケティングの概要		
2	マーケティングの定義		
3	マーケティングミックスの考え方		
4	販売志向とマーケティング志向の違い		
5	マーケティングの課題		
6	マーケティングミックス・製品編		
7	マーケティングミックス・製品編		
8	マーケティングミックス・価格編		
9	マーケティングミックス・価格編		
10	マーケティングミックス・流通編		
11	マーケティングミックス・流通編		
12	マーケティングリサーチの手法		
13	消費者行動とスポーツ観戦		
14	スポーツプロモーション		
15	マーケティング実践		
16	事例研究		
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満)</p> <p>・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 E=0</p> <p>算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>		<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p>
			<p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校		授業担当	学科名：スポーツビジネス学科
教科名：スポーツ経営管理 (講義)		池田 扶実子 実務経験有	■ 2年後期
到達目標	スポーツ経営におけるマーケティング戦力を立てることができ、 課題を抽出する事のできるための理論や知識の習得 (成績評価の方法・基準) 出席率・筆記テスト		2単位 32時数
回	授業内容	備考	
1	市場の細分化		
2	デモグラフィック変数		
3	サイコグラフィック変数		
4	スポーツマーケティング・営利		
5	スポーツマーケティング・非営利		
6	スポーツマーケティングの課題		
7	インタラクティブマーケティング		
8	スポーツクラブのクレーム・営利		
9	スポーツクラブのクレーム・非営利		
10	スポーツ観戦者の観戦意図要因について		
11	スポーツ観戦者増加プランの作成		
12	スポーツ実施者増加プランの作成		
13	アンケートの作成方法①		
14	アンケートの作成方法②		
15	アンケートの作成方法③		
16	事例研究		
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>		<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p>
			<p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名：ファッションビジネス学科
教科名：スタイリングI（実習）	牧野 博之 実務経験有	■ 1年前期
到達目標	FAアドバイザーとしての必要なスキル販売知識商品知識接客用語を身に付け、販売職のスキルを身に付ける (成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・テスト	
		2単位 32時数
回	授業内容	備考
1	自己紹介とスタイリングシートの説明	
2	自分のファッションMAP作成①	
3	自分のファッションMAP作成②	
4	ファッションテーマの方程式	
5	2018年春夏トレンドについて	
6	スタイリング展示説明とチーム分け	
7	スタイリングイメージ発表 買い付け	
8	スタイリングボード作成	
9	ファッションコーディネート5W3H	
10	エレガントイメージコーディネート	
11	モダンイメージコーディネート	
12	クラシックイメージコーディネート	
13	フェミニンイメージコーディネート	
14	スポーティブイメージコーディネート	
15	マニッシュイメージコーディネート	
16	前期試験	

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>	<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校		授業担当	学科名：ファッションビジネス学科
教科名：スタイリングI（実習）		牧野 博之 実務経験有	■ 1年後期
到達目標	FAアドバイザーとしての必要なスキル販売知識商品知識接客用語を身に付け、		2単位 32時数
	販売職のスキルを身に付ける		
	（成績評価の方法・基準）出席率・課題評価・テスト		
回	授業内容	備考	
1	スタイリングプレゼンテーション 前期復習		
2	同調パターンのスタイリング①アイテム		
3	同調パターンのスタイリング②シルエット・柄		
4	アイモデル実践①観察、診断		
5	アイモデル実践②軽いメイク、スタイリング、撮影		
6	体型カバーのスタイリング①シルエット		
7	体型カバーのスタイリング②アイテム、カラー		
8	アイモデル実践①		
9	アイモデル実践②		
10	進級課題①		
11	進級課題②		
12	進級課題③		
13	進級課題④		
14	進級課題⑤		
15	進級課題⑥		
16	後期試験		
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満)</p> <p>・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 E=0</p> <p>算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>		<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校		授業担当	学科名：ファッションビジネス学科
教科名：ファッションマーケティング（実習）		森本 めぐみ 実務経験有	■ 1年前期
到達 目標	FAアドバイザーとしての必要なスキル販売知識商品知識接客用語を身に付け、		2単位 32時数
	販売職のスキルを身に付ける		
	（成績評価の方法・基準）出席率・課題評価・テスト		
回	授業内容	備考	
1	イメージ交換		
2	テイストとは		
3	テイストセグメンテーションマップ作成		
4	市場と消費者、自社と競合		
5	ターゲット分析 MAP制作		
6	マーケティングリサーチ調査手法		
7	マーケティングリサーチ①実施		
8	マーケティングリサーチ①まとめ		
9	マーケティングリサーチ①発表		
10	マーケティングリサーチ②実施		
11	マーケティングリサーチ②まとめ		
12	マーケティングリサーチ②発表		
13	ライフスタイル分析 1		
14	ライフスタイル分析 2		
15	ライフスタイル分析 3		
16	前期試験		
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>		<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p>
			<p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校		授業担当	学科名：ファッションビジネス学科
教科名：ファッションマーケティング*（講義）		森本 めぐみ 実務経験有	■ 1年後期
到達 目標	FAアドバイザーとしての必要なスキル販売知識商品知識接客用語を身に付け、		2単位 32時数
	販売職のスキルを身に付ける		
	（成績評価の方法・基準）出席率・課題評価・テスト		
回	授業内容	備考	
1	オリジナルショッププラン作成の概要		
2	ショップコンセプトの設定		
3	ターゲットについて		
4	商品構成と品揃え		
5	店舗づくり		
6	販売促進		
7	競合店調査		
8	オリジナルショッププラン 発表		
9	オリジナルショッププラン 発表		
10	マーケティングリサーチ③実施		
11	マーケティングリサーチ③まとめ		
12	マーケティングリサーチ③発表		
13	マーケティングリサーチ④実施		
14	マーケティングリサーチ④まとめ		
15	マーケティングリサーチ④発表		
16	後期試験		
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>		<p>再試験に関して</p> <p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名：ファッションビジネス学科
教科名：ファッションビジネスⅠ ①②③④⑤	山脇 岩井 鈴木 実務経験有	■ 1年前期
到達目標	ファッション販売能力検定3級試験対策 (成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・筆記テスト	
		10単位 160時数
回	授業内容	備考
1	ファッションとは	
2	購買心理	
3	素材について	
4	小売業について	
5	店舗ディスプレイ	
6	裾上げ実習	
7	アパレルの分類1	
8	アパレルの分類2	
9	商品品質について1	
10	ファッションマーケティング	
11	商品品質について2	
12	ファッション販売能力検定3級試験対策	
13	ファッション販売能力検定3級試験対策	
14	ファッション販売能力検定3級試験対策	
15	ファッション販売能力検定3級試験対策	
16	ファッション販売能力検定3級試験対策	(前期試験)

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満)</p> <p>・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 E=0</p> <p>算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>	<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名：ファッションビジネス学科
教科名：ファッションビジネス I ①②③④⑤	山脇 岩井 鈴木 実務経験有	■ 1年後期
到達 目標	ファッション販売能力検定3級試験対策	
	(成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・筆記テスト	
10単位 160時数		
回	授業内容	備考
1	パターン知識 (チェック・ストライプ)	
2	毛皮の構造と特性	
3	ニットの編み方と組織	
4	フォーマルウェアについて	
5	デニムの生産とディテール	
6	ファッションが教えてくれること	
7	テイスト別ファッションと主なデザイナー	
8	ディテールについて	
9	サインスペース実習 1	
10	サインスペース実習 2	
11	サインスペース試験 1	
12	サインスペース試験 2	
13	ロープレコンテスト 動画鑑賞	
14	ロープレコンテスト 振り返り・セールストークについて	
15	ロープレコンテスト 振り返り・セールストークについて	
16	後期試験	
成績評価の基準		再試験に関して
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>		<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>
		成績の評価の方法
		<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p>
		<p>その他</p>
		<p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名：総合ビジネス
教科名：簿記会計3級(1)	坂本 勝 実務経験有	■ 1年前期
到達目標	簿記検定3の取得へ向けて、実力養成を行う (成績評価の方法・基準) 出席率・筆記テスト	
		2単位 32時数
回	授業内容	備考
1	損益計算書について	
2	貸借対照表	
3	仕訳と勘定記入①	
4	仕訳と勘定記入②	
5	固定資産	
6	商品売買	
7	未収入金と未払金①	
8	未収入金と未払金②	
9	手形取引	
10	商品券・当座借越	
11	仕訳演習①	
12	仕訳演習②	
13	有価証券	
14	計算表・精算表①	
15	計算表・精算表②	
16	総まとめ	

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満)</p> <p>・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 E=0</p> <p>算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>	<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名：総合ビジネス
教科名：簿記会計3級(2)	坂本 勝 実務経験有	■ 1年前期
到達目標	簿記検定3の取得へ向けて、実力養成を行う (成績評価の方法・基準) 出席率・筆記テスト	2単位 32時数
回	授業内容	備考
1	勘定科目・仕訳	
2	決算整理	
3	伝票・補助簿①	
4	伝票・補助簿②	
5	精算表・貸借対照表①	
6	精算表・貸借対照表②	
7	損益計算表	
8	残高試算表①	
9	残高試算表②	
10	仕訳	
11	過去問題	
12	過去問題	
13	3級対策問題	
14	3級対策問題	
15	3級対策問題	
16	総まとめ	

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=2 B=2 C=1 D=0 E=0</p>	<p>再試験に関して</p> <p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名：総合ビジネス
教科名：日本の企業経営Ⅰ	倉原 照幸 実務経験有	■ 1年前期
到達目標	「初歩から学ぶ日本の企業経営」をテーマに、前期は講義とディスカッションをベースに	
	「日本の企業経営」の基礎的な知識習得を行います。それを踏まえて、前期終了までに、	
	事例考察と企業経営の国際比較を行うレベルまでを目指します。	
	(成績評価の方法・基準) 課題レポート・筆記テスト	
2単位 32時数		
回	授業内容	備考
1	イントロダクション 授業終了時の到達目標を提示する	授業の進め方、評価の仕方について説明
	現行、起きている社会状況を企業経営の立場から考察する。	
2	日本の企業経営の歴史①	
	概説：幕末から明治前期の経済	
3	日本の企業経営②	
	明治から昭和の経営者	
4	日本の企業経営③	
	戦後の日本経営のありかた。高度成長期から現代の経営手法	
5	企業経営とは何か①	
	初めて学ぶ日本の経営概論	
6	企業経営とは何か②	
	社会と経営：企業経営と社会の結び付きを知る。	
7	日本の企業システム①	
	日本の企業システムの特徴	
8	日本の企業システム②	
	日本の企業システムと海外の比較	
9	ベンチャー企業の経営①	
	日本の企業システムの特徴	
10	ベンチャー企業の経営②	
	ベンチャー企業の展望	
11	企業経営（事業考察）①	
	IT/AI/IOT事業会社をテーマにケーススタディ	
12	企業経営（事業考察）②	
	注目するスタートアップ企業を考察する。	
13	国際比較	
	GAFAのビジネス展開を検証	
14	前期総復習	
	前期のまとめ	
15	前期テスト	
16		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満)</p> <p>・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0</p> <p>算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>	<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他
		授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名：総合ビジネス
教科名：日本の企業経営Ⅱ	倉原 照幸 実務経験有	■ 1年後期
到達目標	「経営者の考え方を知る」をテーマに様々な経営者の会社運営について学ぶ。経営者と会社運営は密接にあることから経営者の考え方がよく、その会社の方向性とうどう関連していくかを事例を基に学んでいく (成績評価の方法・基準) 課題レポート・筆記テスト	
		2単位 32時数
回	授業内容	備考
1	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
2	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
3	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
4	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
5	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
6	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
7	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
8	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
9	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
10	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
11	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
12	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
13	まとめ(1)	
	これまでの授業の復習と総まとめ	
14	まとめ(2)	
	これまでの授業の復習と総まとめ	
15	後期試験	
	課題レポートによるテスト	
16		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)		その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当 森 草輔 実務経験有	学科名：総合ビジネス
教科名：販売士検定対策3級（1）		■ 1年前期

到達 目標	小売業・販売についての知識を習得し検定取得を目指す	2単位 32時数
	(成績評価の方法・基準) 出席率・筆記テスト	

回	授業内容	備考
1	オリエンテーション	
2	小売業の種類（流通における小売業）	
3	小売業の種類（組織形態別・店舗形態別小売業）	
4	小売業の種類（中小小売業）	
5	小売業の種類（販売経営管理）法令知識	
6	販売経営管理（法令店舗管理）	
7	販売経営管理（法令店舗管理）	
8	マーチャンダイジング（MPの戦略・POS物流）	
9	マーチャンダイジング（商品仕入れ管理）	
10	ストアオペレーション（S0・包装）	
11	ストアオペレーション（ディスプレイ）マーケティング（小売業のMK）	
12	ストアオペレーション（ディスプレイ）マーケティング（小売業のMK）	
13	マーケティング（顧客満足・商圈）	
14	マーケティング（リージョナルプロモーション）①	
15	マーケティング（リージョナルプロモーション）②	
16	まとめ	

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。 その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当 森 草輔 実務経験有	学科名：総合ビジネス
教科名：販売士検定対策3級（2）		■ 1年前期
到達目標	小売業・販売についての知識を習得し検定取得を目指す (成績評価の方法・基準) 出席率・筆記テスト	2単位 32時数
回	授業内容	備考
1	オリエンテーション	
2	小売りの類型(1)小売業とは	
3	小売りの類型(2)組織別、形態別の商業集積①	
4	小売りの類型(2)組織別、形態別の商業集積②	
5	マーチャダイジング(1) マーチャダイジングサイクル・販売・仕入れ	
6	マーチャダイジング(2)在庫管理・物流	
7	マーチャダイジング(3)価格・価格設定と利益	
8	ストアオペレーション(1)店舗内業務・包装の基本①	
9	ストアオペレーション(2)人員配置・LSP②	
10	マーケティング(1)顧客を主にした経営・4P理論①	
11	マーケティング(2)マーケティング活動・業務・開発②	
12	販売経営管理(1)販売員の役割①	
13	販売経営管理(1)販売員の役割②	
14	販売経営管理(2)店舗管理・計数管理①	
15	販売経営管理(2)店舗管理・計数管理②	
16	まとめ	

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>	<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校		授業担当	学科名：ITビジネス	
教科名：ネットワークセキュリティ①②		服部 久美子 実務経験有	■ 1年前期	
到達目標	基本情報処理試験を通して、ネットワークのしくみや日々起こる情報セキュリティの危険性、技術の危険性、技術保守のしくみなどを理解する。			4単位 64時数
回	授業内容	備考		
1	インターネット			
2	ネットワークアーキテクチャ			
3	ネットワークの仕組み			
4	第5部 まとめ			
5	第5部 まとめ			
6	情報セキュリティの概要			
7	情報セキュリティの概要			
8	情報セキュリティ対策			
9	情報セキュリティ対策			
10	第6部 まとめ			
11	データ構造			
12	基本アルゴリズム			
13	第7部 まとめ			
14	総復習			
15	前期試験			
16				
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法	
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。		定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。	
<ul style="list-style-type: none"> 成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)			その他	
			授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。	

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校		授業担当	学科名：ITビジネス	
教科名：ストラテジー①②		服部 久美子 実務経験有	■ 1年前期	
到達目標	基本情報処理午前問題として出題されるストラテジ系の内容を通して、企業の経営の基本的理論を学習する。			4単位 64時数
回	授業内容	備考		
1	企業活動			
2	経営科学			
3	経営科学			
4	経営科学			
5	法務と標準化			
6	法務と標準化			
7	第1部 まとめ			
8	第1部 まとめ			
9	経営戦略マネジメント			
10	経営戦略マネジメント			
11	ビジネスインダストリー			
12	情報システム戦略の概要			
13	情報システム企画			
14	総復習			
15	前期試験			
16				

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満)		その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：大阪ビジネスカレッジ専門学校		授業担当	学科名：ITビジネス	
教科名：マネジメント①②		服部 久美子	■ 1年前期	
到達目標	ITパスポート試験のマネジメント対策			4単位
				64時数
回	授業内容	備考		
1	システム開発のプロセス			
2	システム開発のプロセス			
3	システムの導入と受入			
4	ソフトウェア開発管理技術			
5	まとめ			
6	プロジェクトマネジメント			
7	プロジェクトマネジメント			
8	プロジェクトマネジメント			
9	まとめ			
10	サービスマネジメント			
11	サービスマネジメント			
12	サービスマネジメント			
13	まとめ			
14	復習			
15	期末試験			
16				

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	小テスト：40点 期末テスト：60点
		その他 FOM出版「ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集」使用